

JA 共済連新潟より 新型 8 条植え 田植機を寄贈していただきました！

～ VR 疑似体験で農作業の安全も学びました ～



新型 8 条植え田植機の寄贈式

1 月 23 日（月）に、JA 共済連新潟の村岡徹雄副本部長様、JA えちご上越の高山孝次共済担当常務様をはじめ、関係者の皆様をお迎えし、農業機械の寄贈式を開催しました。

本校からは、校長をはじめ、生物資源科 3 年生の農業生産コース 20 名と関係職員が参加しました。

寄贈式では、最新機械のヤンマー 8 条植え田植機を寄

贈いただきました。生徒を代表して、

3 年下鳥隼大さんが寄贈パネルを、続いて猪田舞桜さんがレプリカキーを贈呈いただき、そろって記念撮影をしました。下鳥さんが、「今から田植えが待ち遠しいですが、田植機の操作は後輩たちに譲りたい。」「後輩が田植機で田植えをして、秋にはおいしい米を収穫してくれる。」と期待を込めて元気にあいさつとお礼の言葉を述べました。



VR 動画による農作業事故疑似体験

寄贈式に続いて、VR（バーチャルリアリティ）動画による疑似体験を行いました。VR ヘッドセットを JA 共済連よりお借りし、生徒全員がリアルな農作業事故の疑似体験を行いました。

田植機とトラクターの 2 種類の機械運転中の危険動画を体験しましたが、動画を見て疑似体験をした生徒は、「キャー、危ない！」「おー、事故る、事故る。」などと、悲鳴に近い声を発して機械運転の危険性を実感していました。

普段なかなかできない体験をすることで、改めて機械の安全操作、その重要性について再確認することができました。



田植機の説明と実演

VR 体験後、参加者全員が屋外に移動、寄贈いただいた 8 条植え田植機の実演を見学しました。JA 農機センター農機課長の清水英夫様より、田植機の特徴や操作方法などについて、説明いただきました。最後に参加者が記念撮影をし、贈呈式を終了しました。

